

循環器科

●概要

高血圧、不整脈、狭心症、心筋梗塞、心臓弁膜症、心不全、心筋症などの心臓の病気や大動脈、末梢血管などの血管の病気を専門で扱います。脈が急に速くなる、遅くなる、胸が痛い、胸が締め付けられる、背中が痛い、息が苦しい、足がむくむなどの症状がある方は、心臓の病気が原因である可能性があります。お気軽に受診されてください。

●専門外来

循環器学会循環器専門医を中心とした専門外来を行っております。再診の方には予約表をお渡ししておりますので、受診の際にお持ちください。

	月	火	水	木	金	土
午前	高垣健二	—	高垣健二	高垣健二	高垣健二	●高垣健二 ◆玉置俊介
午後	—	高垣健二	◎高垣健二	—	—	—

* ◎は、ペースメーカー外来で、第3週のみ、予約制です。

* ●は、月1回 第1土曜日のみ、◆は、月2回 第2・4土曜日の診療となります。

●検査について

心電図検査、運動負荷心電図検査、ホルター心電図検査、ABI検査

超音波検査、冠動脈CT検査などを行っております。

予約制の検査もありますが、当日施行できる場合もあります。担当医にご相談ください。

●治療について

内服薬による治療、生活習慣指導に加え、心臓ペースメーカー治療を行っております。

脈が遅くなる不整脈（専門的な病名では、完全房室ブロック、洞不全症候群）では、脳への血流が一時的に低下し、めまい、失神などの症状が出現します。このような不整脈の治療にペースメーカーが用いられます。

【心臓ペースメーカーの植え込みについて】

電氣的に刺激を与えて心臓の拍動数を補うのが心臓ペースメーカーです。ペースメーカーは、刺激を作り出す本体（電池とコンピューター）と、刺激を伝える電極リードの2つの部位から成り立っています。鎖骨の下を通る静脈に電極リードを挿入して、心臓に到達させ、本体を左右どちらかの胸部の皮下に植え込みます。外来での検査でペースメーカーが必要と判断された場合、入院で行います。手術は、局所麻酔で、1～2時間程で終わります。

【心臓ペースメーカーの定期検査について】

ペースメーカー治療を行った後は、電池の残量とリードに異常がないかのチェックが必要となりますので、定期的な受診が必要になります。プログラマという機器を使って、体の外側からチェックします。第3水曜日の午後、予約制の診療になります。

【心房細動の治療について】

心房細動は、加齢とともに増加する不整脈です。人生100年時代の高齢化社会において、心房細動はcommon diseasesのひとつとなりました。

心房細動とは、心房が1分間に400～600回くらいの速さで無秩序に興奮する不整脈です。心房で発生したこの興奮は、不規則なまま何割かが心室に伝わるため、心室での興奮も1分間に60～200回程度の不規則なものとなります。そのため、脈拍の大きさや間隔が不規則になり、動悸や胸部不快感などの症状がみられます。左心房の中に血栓（血のかたまり）ができて、脳に飛ぶと脳梗塞（年間発生率4～5%）を起こします。心房細動によって心拍出量が低下して心不全になる場合もあります。心房細動の治療は薬物療法(1. 2.)と非薬物療法（3.）があります。

1. 心房細動自体の治療

(1) 抗不整脈薬で心房細動を抑える

(2) 心房細動のまま、心室の脈拍数をコントロールする

2. 血栓塞栓症の予防：抗凝固療法（血栓を溶かす）：脳梗塞予防し生命予後を改善するので重要

3. カテーテル治療（実際に治療を行っている病院へ紹介します）

気になる症状がある方は、当院 循環器内科へ、お気軽にご相談ください。